

日本工学院専門学校	開講年度	2019年度	科目名	プロジェクトワーク1	
科目基礎情報					
開設学科	マンガ・アニメーション科四年制	コース名	アニメーションコース	開設期	前期
対象年次	3年次	科目区分	必修	時間数	90時間
単位数	3単位			授業形態	実習
教科書/教材	毎回授業課題を配布。必要に応じて映像資料も使用。				
担当教員情報					
担当教員	花井 宏和・川合 正起		実務経験の有無・職種	有・アニメーター	
学習目的					
この授業での履修目的はアニメーション作画部門・原画職において、必要な技術と知識を習得することを目的とする。 まず第一に原画制作の基本であるカメラワーク・レイアウト（構成）技術を習得する。 第二にアニメーション作画職として就職・業務委託契約としてデビューするための基礎的な画力を身に着ける。					
到達目標					
原画作業においてカットに求められる必要なカメラワーク指示ができ、 2次元フレームに透視図法を用いて適切なレイアウトが描けるようになる。 それらを反映した各自の就職用作品集（ポートフォリオ）の完成と就職内定をとる。					
教育方法等					
授業概要	アニメーターとして求められる標準技術習得を目的とした 演出力・作画能力の向上を図るため、 レイアウト（画面構成）を中心にカメラワークや必要な知識を学ぶ。				
注意点	毎回別の課題が用意されるため、遅刻・欠席をしないよう心掛ける。授業内容が課題・添削・提出のため極力自身から積極的に先生へ質問・提出をするよう心掛けること。授業時数の4分3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	50%	試験と課題を総合的に評価する		
	小テスト	0%			
	レポート	0%			
	成果発表 （口頭・実技）	0%			
	平常点	50%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	技量確認試験		前年度の習得技術確認・疑問点を鮮明化し、就職指導する		
2回	映像研究		過去の優れた作品から技術・演出技法について考察する		
3回	透視図法1		1点透視図法の説明・実技		
4回	透視図法2		2点透視図法の説明・実技		
5回	透視図法3		3点透視図法の説明・実技		
6回	透視図法4		透視図法の応用・課題提出		
7回	カメラのレンズや画角1		広角レンズによる演出技法		
8回	カメラのレンズや画角2		望遠レンズによる演出技法		
9回	カメラのレンズや画角3		被写界深度について		
10回	カメラのレンズや画角4		レンズ効果について応用・課題提出		
11回	カメラワーク技法1		タイムシートの説明（撮影指示・特殊効果）1		
12回	カメラワーク技法2		タイムシートの説明（撮影指示・特殊効果）2		
13回	カメラワーク技法3		タイムシートの説明（撮影指示・特殊効果）・課題提出		
14回	芝居の概念・タイミング1		アニメ演出から見る芝居と撮影によるスピード表現1		
15回	芝居の概念・タイミング2		アニメ演出から見る芝居と撮影によるスピード表現・課題提出		